

# 2 桜 通 信

桜谷小学校だより 令和3年2月1日

ホームページを更新中！  
「<https://www.rmc.ne.jp/~sakuraok/>」または「桜谷小学校」で検索ください。QRコードでも読み取れます。



## いざというときに備えて～子どもの力を引き出しながら～

阪神・淡路大震災から26年、3月には東日本大震災から10年を迎えます。その後も国内で少し大きな地震は頻繁に起きています。

1月19日には、予告なしで大地震を想定した避難訓練をしました。緊急地震速報が聞こえるとさっと一次避難できる子どもが増えました。命を守る大事な訓練のため8名の防災士さんにお越しいただきました。訓練後には防災士さんのご指導で大変充実した防災学習ができました。

ところで、避難訓練の前に、5年生が、総合的な学習の時間の学習を生かして、大地震のときに小さい学年の子どもが自分で自分の命を守ることができるように、1～4年生に出張指導に行ってくれました。教室で地震が起こったときにはどうするか、トイレだったら、裏山だったら、場面ごとに、実際に身を守る行動を取ったりクイズにして考えたりするように工夫していました。5年生は何時間も学習を進めてきているため「体育館にいるときだったらどうしたらいいですか」といった質問にも的確に受け答えをしていました。教えてもらった1～4年生は教師が指導するときとは表情が全く違いました。

5年生には、最高学年になるための力をつけてほしいと思っていますので、頼もしい様子を非常に心強く感じました。また今後も子ども同士で安全を目指す取組が進むことを願いました。

さて、先日、保護者の皆様にご協力いただきましたアンケート結果をお配りさせていただきましたが、プラス評価については継続できるように努めるとともに、少数であってもマイナス評価や記載いただいたご意見を具挙に受け止めたいと考えます。

今回頂戴したご意見の中に「少人数ならではの活動を今以上に取り入れてほしい」「桜谷小ならではの特色ある取組を」「視野を広げる取組を」というものがありました。これは教職員の意見とも重なります。本校の子どもは面倒見がよく、任せられたり頼られたりすることでより力を発揮し、自信を得る場面がこれまでも多くありました。またどの子どもも「よりよい自分になりたい」という願いをもっています。防災学習を通じた取組のように、子どもの力やよさを引き出しながら、子ども自身がやり甲斐を感じ、ひいては自信や視野の広がりにつながる取組を、今後も工夫して実施していきたいと考えています。

なお、コロナ禍でもグループ学習や地域の方に寄り添って教えていただく活動が少しでも安心して実施できるように、同窓会でフェイスシールドを購入していただきました。マスクと併用して使用することで、防災学習を初め、おかげ様で活動の幅が広がっています。ご支援をありがとうございました。

## 「心と体の学習」を通して



1月27日の学習参観には廊下からの参観や人数制限などにご協力いただきありがとうございました。この日の前後に全学年で「心と体の学習」に取り組みました。4年生は25日、6年生は27日に、助産師の齋藤先生からお話をうかがいました。齋藤先生は「自分は大切な存在なんだと思う気持ち(自己肯定感)を大事に」と優しい表情で全身で伝えてくださいました。初めから前のめりに話を聞いていた6年生でしたが、時間が進むにつれて齋藤先生の言葉がより強く子どもの心に届いたようでした。「生きていることは当たり前ではないと改めて感じた」「自分にできる～をしたい」といった感謝の言葉から、6年生がまた一歩成長したことを感じました。

他の学年でも、学習を通して、家族に愛情をもって育てられてきたことや命の大切さを感じるきっかけになったのではないのでしょうか。自分を大事に、相手も大事に、一年の締めくくりをしてほしいと思います。

## 「湖っ子食育大賞」優秀賞を受賞しました！



望ましい食習慣を身につけ心身ともに健康で生き生きとした生活を送ることを目指す、特色を生かした食育の取組を評価いただきました。今後も食の指導の充実を目指します。(文責：校長 北崎 あゆみ)



6年生中心に字の防災マップを作成



低学年に避難訓練の事前指導をする5年生



命の大切さを語りかける齋藤先生